

2014年 11月 25日

京都府知事 山田啓二 様

日本共産党京都府会議員団
団長 前窪義由紀

米軍イージス艦の舞鶴港入港に強く抗議する

11月21日、米海軍第7艦隊所属のイージス駆逐艦「ジョン・S・マッケイン」(母港・横須賀市)が舞鶴港自衛隊北吸栈橋に入港した。これは入港当日の21日朝、突然米海軍が発表したものである。新聞報道によると、今回の寄港の目的は「友好親善と乗組員の休養」とされているが、京丹後市経ヶ岬に建設されている「米軍 X バンドレーダー基地」と連動しての寄港であることは確実である。

「ジョン・S・マッケイン」はミサイル防衛対応艦であり、弾道ミサイル迎撃用の SAM3 ミサイルや核積載可能な巡航ミサイルも装備している。2012年12月に北朝鮮が「人工衛星の打ち上げ」と称して弾道ミサイル発射を予告した時には、複数の米海軍イージス艦や自衛隊イージス艦とともに日本海に展開した。まさに米ミサイル防衛にあたる最前線艦であり、X バンドレーダーと一体のものである。

経ヶ岬の米軍レーダー基地が、府民の大きな反対と不安を押し切って12月には本格的稼働されようとしている中、米軍イージス艦の入港は、舞鶴港や経ヶ岬など京都北部を米軍のミサイル防衛構想の最前線基地にしようとしているものである。

舞鶴港にはすでに自衛隊のイージス艦が2隻配備されており、米軍との連携を強めている。さらに今回の米イージス艦の入港を認めることは、ミサイル防衛戦略に日本を一層深く組み込み、舞鶴港全体を軍港化するものである。これは、非核、平和の港・舞鶴港を願う京都府民の世論や戦争への深刻な反省の上に立って、軍港を平和の港に転換することを定めた「旧軍港市転換法」に反し、日本国民を米国の行なう戦争に巻き込み生命を脅かす危険なものであり、断じて許すことはできない。

京都府港湾事務所は19日に入港予定を聞いたとしているが、府民には知らされていない。府は舞鶴港の管理に責任を持っており、府民の安心安全に反する米艦船の入港を認めることは許されない。舞鶴港を日本海に開かれた平和な港のするためにも米イージス艦の入港に強く抗議する。

以上、申し入れるものである。